

# 西多賀中学校沿革



## 西多賀中学校の誕生

昭和26年6月に、長町中学校の分校を西多賀に建設しようとする分校建設期成会が発足し、昭和27年7月14日に長町中学校の分校として開校しました。翌28年2月1日に、仙台市立の19番目の中学校として、西多賀中学校が開校し、3月に第1回卒業式が行われました。



### 一番困っていたこと…

困っていたのは、飲み水です。当時は水道がなくて、井戸を掘って飲料水にしようとしていました。



第1回  
卒業生

## 校旗制定・校章の由来



昭和28年12月5日（この日が開校記念日となっています）、校旗が制定され、校章には萩と柏がデザインされました。

萩の葉は仙台萩と呼ばれ、昔から歌枕にされたほど有名であり、仙台の象徴である萩の葉を親しんで採用しました。

また、柏の葉は、多賀神社が大正2年4月に火災のため焼失した際、不思議なことに、庭に生えていた柏の老木だけが焼けずに残ったことから、西中生も、この柏の木のように難事にあっても、常に生き生きと発展することを願って採用したものでした。



### 初代校旗は…

校長室前の廊下に、今も飾ってあります。

初代校旗は、その後40年以上も使われ、だいぶ古くなったということで、平成7年、同窓会、文化体育後援会の協力をいただき、PTAによって新しいものに作り替えられました。この年から、校旗が制定された12月5日が開校記念日となりました。



### 出だしの旋律が異なります

蔵王山なみ 日に日に 新たに  
太白山 日に日に 親しく

## 校歌の制定

永野為武氏作詞、福井文彦氏作曲で、昭和33年12月に制定され、屋内体育館の完成と併せて披露されました。1番と2番の出だしの旋律が異なる点、無声子音が巧みに旋律に溶け込んでいる点など、他校に見られない新しい感覚で作られた校歌であったと記録に残っています。



昭和32年 駅伝優勝



## 西多賀中学校の歴史

西中生は、文武両道の言葉どおり、勉強に運動に力を注ぎ、昭和32年の県下中学校駅伝大会での優勝をはじめ、昭和36年のNHKラジオ唱歌コンクール県大会入賞など、その成果を各大会などで発揮しました。

昭和40年5月には、設備の充実や経費援助を目的として体育後援会が発足し、昭和42年の中総体では、サッカー、バレーボール、ソフトボール、バドミントンをはじめ、合わせて10種の競技で優勝を手にするなど大いに活躍しました。



昭和41年～43年 サッカー部 3年連続優勝

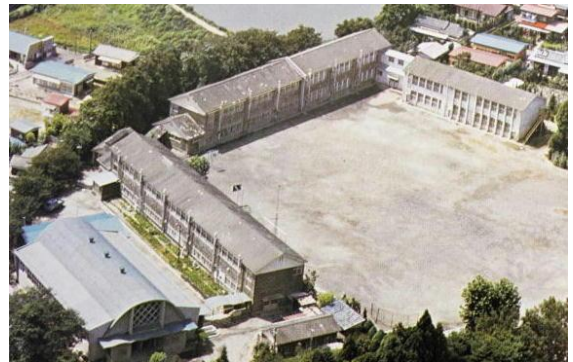
サッカー部3年連続優勝の旗も、校長室前の廊下にあります。



昭和42年 バドミントン優勝

以降、生徒数も順調に増え、そのため昭和48年に八木山中学校が開校することになりました。しかし、新しい団地の増設で更に生徒数が増え、昭和51年度には、学級数28、生徒数1,259名と開校以来のマンモス校となりました。新校舎が建設・増築されたり、プレハブ校舎で急場をしのいだりしました。

翌52年度には山田中学校が、昭和63年度には富沢中学校が分離開校し、これを機に西多賀中学校は一気に1学年6クラスの適正規模の学校に生まれ変わり、今日に至ります。



昭和45年 校庭に増設された校舎

## 制服

開校当時は決まったものがなく、私服で学校生活を送っていました。昭和38年度から、男子は詰め襟学生服、女子は紺色ブレザーとスカートが奨励服となりました。平成4年度、現在の素敵なデザインの新しい奨励服に変わりました。



## 現在の姿



昭和59年 新校舎と新体育館が完成



平成11年 武道館が完成

開校以来の良き伝統を継承しつつ、これからも地域の皆様のお力添えをいただきながら、新たな西中の歴史を築いていきたいと思ひます。(創立50・60周年記念誌を参考)